

1. 授業の概要(ねらい)

「芸術」というものは「個人の想いや考え感情を表現する」ものだけと捉われがちであるが、「共有する想いを元に制作する」「制作することによって想いを共有する」ということも可能である。本講では「個人が制作したものを社会に役立てるでだて」を考える。そして、ワークショップを計画し実践をしてゆく。また、イベントを盛上げるために作品を制作するなど「芸術が社会にできること」を探し、個人の表現だけにとどまらず、発信してゆくことを考え実行してゆく。帝京大学幼稚園との協働授業(ワークショップ)を4回授業内で行う。ワークショップ前には授業内において様々な用具材料の検討を行い、園児とのワークショップを計画する。ワークショップによってコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力の向上も目指してゆく。社会人として必要となる能力(ジェネリックスキル)の獲得をめざす。

2. 授業の到達目標

芸術を通じての社会貢献を考え、その方法を提案できるようにする。コミュニケーション能力・プレゼンテーション能力・臨機応変に物事に対応する能力を獲得する。

3. 成績評価の方法および基準

毎回のディスカッション20%・幼稚園でのワークショップでの活動の様子50%・制作およびレポート30%
ワークショップを2回欠席した場合は単位の取得を認めない。

4. 教科書・参考文献

5. 準備学修の内容

世の中がどのような状況にあるかを常に把握する努力をすること。
ワークショップ前に内容を確認し、準備するものを把握する。
ワークショップ後は振り返りレポートを制作すること。
ワークショップに活用できる内容を調べる。

6. その他履修上の注意事項

常に物を考えること。社会の問題点に関心を持つこと。自分ができていることを考えること。
※帝京大学幼稚園とのワークショップの際には、服装・言動・立ち振る舞いにも気をつけること。
※教職希望者は特に履修すること。

7. 授業内容

- 【第1回】 オリエンテーション
表現とは何か
- 【第2回】 「ゆるキャラ」に学ぶ地域貢献
学部非公認「ゆるキャラ」を考えよう
- 【第3回】 「ゆるキャラ」制作・発表
- 【第4回】 ワークショップで行う制作試作と計画の再考
- 【第5回】 ワークショップ実技・ワークショップ①
- 【第6回】 ワークショップの学びと反省
- 【第7回】 さまざまな素材を組み合わせてみよう
- 【第8回】 大人も子供も楽しめる制作とは何か
- 【第9回】 ワークショップ計画②
- 【第10回】 ワークショップ②
- 【第11回】 ワークショップの学びと反省
- 【第12回】 ワークショップ計画③
- 【第13回】 ワークショップ③
- 【第14回】 ワークショップ④
- 【第15回】 まとめと提案プレゼンテーション